

平成18年12月8日

各 位

会 社 名 タ カ セ 株式会社
 代表者の役職名 代表取締役社長 眞田 洋
 (JASDAQ・コード9087)
 問 合 せ 先 専務取締役総合改革本部長
 金子 重男
 (TEL. 03-3571-9497)

【訂正】平成19年3月期中間決算短信（連結）の一部訂正について

平成18年11月22日に発表いたしました「平成19年3月期中間決算短信（連結）」の記載内容に一部誤りがありましたので、下記のとおり訂正いたします。

記

1. 訂正箇所

[決算短信] 1. (3) 連結キャッシュ・フローの状況（1ページ）

[添付資料] 3. (4) 連結キャッシュ・フローの状況（6・7ページ）

[添付資料] 4. (1) ④中間連結キャッシュ・フロー計算書（15・16ページ）

※ 訂正箇所を含むページについては、訂正前と訂正後をそれぞれ添付し、訂正箇所には下線を付しております。

① [決算短信] 1. (3) 連結キャッシュ・フローの状況（1ページ）

【訂正前（誤）】

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー 百万円	投資活動による キャッシュ・フロー 百万円	財務活動による キャッシュ・フロー 百万円	現金及び現金同等物 期 末 残 高 百万円
18年9月中間期	<u>△248</u>	△25	<u>78</u>	1,645
17年9月中間期	22	△107	△270	1,556
18年3月期	411	△365	△128	1,839

【訂正後（正）】

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー 百万円	投資活動による キャッシュ・フロー 百万円	財務活動による キャッシュ・フロー 百万円	現金及び現金同等物 期 末 残 高 百万円
18年9月中間期	<u>△240</u>	△25	<u>71</u>	1,645
17年9月中間期	22	△107	△270	1,556
18年3月期	411	△365	△128	1,839

② [添付資料] 3. (4) 連結キャッシュ・フローの状況 (6・7ページ)

【訂正前 (誤)】

(4) キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、営業活動によるキャッシュ・フローが2億48百万円の減少(前年同期比2億70百万円の収入減)、投資活動によるキャッシュ・フローが25百万円の減少(前年同期比82百万円の支出減)、財務活動によるキャッシュ・フローが78百万円の増加(前年同期比3億49百万円の収入増)となり、現金及び現金同等物に係る換算差額を調整し、16億45百万円となりました。

その結果、当中間連結会計期間末の資金残高は、前連結会計年度末より1億94百万円の減少となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果支出された資金は、2億48百万円(前年同期比2億70百万円の支出増)となりました。

これは主に、減価償却費の資金増1億62百万円があるものの、税金等調整前中間純損失による資金減66百万円(前年同期比3億37百万円の収入減)、役員退職慰労金等の支払による資金減1億36百万円、その他項目の資金減99百万円、法人税等の支払による資金減1億28百万円(前年同期比1億8百万円の支出減)があったことによるものであります。

・
・

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、78百万円(前年同期比3億49百万円の収入増)となりました。

・
・

【訂正後 (正)】

(4) キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、営業活動によるキャッシュ・フローが2億40百万円の減少(前年同期比2億63百万円の収入減)、投資活動によるキャッシュ・フローが25百万円の減少(前年同期比82百万円の支出減)、財務活動によるキャッシュ・フローが71百万円の増加(前年同期比3億42百万円の収入増)となり、現金及び現金同等物に係る換算差額を調整し、16億45百万円となりました。

その結果、当中間連結会計期間末の資金残高は、前連結会計年度末より1億94百万円の減少となりました。

当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果支出された資金は、2億40百万円(前年同期比2億63百万円の支出増)となりました。

これは主に、減価償却費の資金増1億62百万円があるものの、税金等調整前中間純損失による資金減66百万円(前年同期比3億37百万円の収入減)、役員退職慰労金等の支払による資金減1億36百万円、その他項目の資金減91百万円、法人税等の支払による資金減1億28百万円(前年同期比1億8百万円の支出減)があったことによるものであります。

・
・

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は、71百万円(前年同期比3億42百万円の収入増)となりました。

・
・

③ [添付資料] 4. (1) ④中間連結キャッシュ・フロー計算書 (15・16ページ)

【訂正前 (誤)】

④中間連結キャッシュ・フロー計算書

		前中間連結会計期間 (自 平成17年4月1日 至 平成17年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 平成18年4月1日 至 平成18年9月30日)	前連結会計年度 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)
区分	注記 番号	金額 (千円)	金額 (千円)	金額 (千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー				
・ その他の増減額		△143,930	<u>△99,075</u>	△97,686
小計		279,999	<u>△52,906</u>	826,530
・ 営業活動によるキャッシュ・フロー		22,311	<u>△248,262</u>	411,910
III 財務活動によるキャッシュ・フロー				
・ 配当金の支払額		△109,162	△108,654	△109,291
財務活動によるキャッシュ・フロー		△270,824	<u>78,880</u>	△128,318

【訂正後 (正)】

④中間連結キャッシュ・フロー計算書

		前中間連結会計期間 (自 平成17年4月1日 至 平成17年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 平成18年4月1日 至 平成18年9月30日)	前連結会計年度 (自 平成17年4月1日 至 平成18年3月31日)
区分	注記 番号	金額 (千円)	金額 (千円)	金額 (千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー				
・ その他の増減額		△143,930	<u>△91,629</u>	△97,686
小計		279,999	<u>△45,460</u>	826,530
・ 営業活動によるキャッシュ・フロー		22,311	<u>△240,816</u>	411,910
III 財務活動によるキャッシュ・フロー				
・ 配当金の支払額		△109,162	△108,654	△109,291
その他の増減額		二	<u>△7,446</u>	二
財務活動によるキャッシュ・フロー		△270,824	<u>71,434</u>	△128,318

以 上